

取り組み
しましょう!

冬の省エネ行動



今 年の夏は、深刻な電力不足のため、節電対策を工夫した家庭が多かったと思います。節電対策をするなかで、むだなエネルギーを使っていたことに気づいた方も多いのではないのでしょうか。

節電をすることは、電気のむだを防ぐだけでなく、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの「温室効果ガス」の排出減少や電気代の節約につながります。

家庭からの二酸化炭素排出量の燃料種別内訳(下図)のとおり、私た

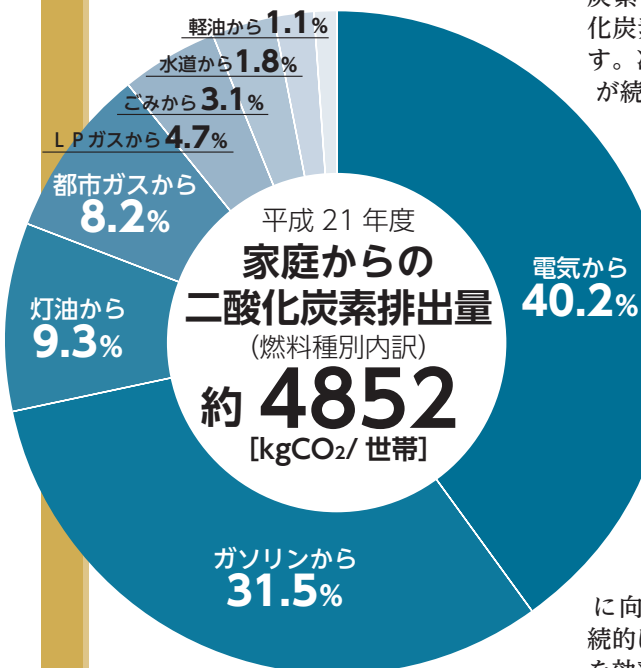
ちのふだんの生活のさまざまな活動から二酸化炭素が発生します。家庭からの二酸化炭素排出量は、大きな割合を占めるとともに、近年増加傾向にあります。

もっとも多いのが照明や家電製品などの電気を使うことによる二酸化炭素の排出で、これが家庭の二酸化炭素排出量の約4割を占めています。次に、乗用車の使用による排出が続きます。

基本的に、ガソリンや灯油などの化石燃料を燃やしたり、各家庭から排出されたごみを廃棄物処理施設で燃やしたりすることで、二酸化炭素が発生します。水道の水を使用する時も電気を使用してポンプの水を送るため、二酸化炭素が排出されます。

このように、私たちが日々の生活のなかで、できるだけ省エネルギーに努めることの重要性が高まっています。

エネルギー消費量の増える冬に向けて、無理の無い範囲で、継続的に節電に取り組み、エネルギーを効率的に使う、賢くシンプルな省エネルギー型の行動を取り入れてみましょう。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター「すぐ使える図表集」

家庭でできる 主な省エネ術



- **エアコンやファンヒーターの設定温度を1度下げる**
外気温度6度とき、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21度から20度に下げて1日9時間使用した場合、年間で電気53.08kWhの省エネルギーになります(二酸化炭素の削減量18.6kg)
- **暖房設定温度を上げる前に、重ね着をする**
カーディガンをはおることでプラス2.2度、ひざ掛けをかけることでプラス2.5℃、靴下をはくことでプラス0.6℃、体感温度が上昇します
- **扇風機などを効率よく使い、空気を循環させ室温のむらをなくす**
- **部屋の保温効果を高めるためにカーテンを厚手の物に変える**
- **食器は、お湯の設定温度を下げ、ゴム手袋を使用してまとめ洗いをする**
- **風呂の湯が冷めないように、保温材の活用や、続けて入浴する**
- **余熱を利用して料理を仕上げる(保温調理)**
- **自動車の運転は、エコドライブ(ふんわりアクセルとアイドリングストップなど)を実践する**

発進時は、5秒間で20km/h程度に加速すると、年間でガソリン83.57リットルの省エネルギーになります(二酸化炭素の削減量194.0kg)

※省エネ術や保温調理についての出前講座を行っています。詳しくは、お問い合わせください

出店：省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」

省エネナビ・エコワット

電気使用量を知ろう

～省エネナビ・エコワットを使って節電の計画を

市では、皆さんの電気のむだをなくす気持ちや、省エネの実践行動を広げていくため、家庭の電気使用量を金額などに換算し、省エネ達成度などを表示できる「省エネナビ」と、コンセントと電気機器の間に接続して、その電気機器の電気使用量や二酸化炭素排出量を測定する「エコワット」を貸し出しています。

対象

市内在住で、自分で家庭の分電盤(単相3線式または単相2線式でAC100ボルト75アンペア以内)に計測器を設置できる方

※詳しくは、お問い合わせください

環境家計簿をつけてみよう

～浦安エコファミリー～

● 浦安エコファミリー (パンフレット)

地球温暖化のしくみや環境を保全することの大切さを理解し、できることから楽しくエコライフに取り組む、環境にやさしい行動を紹介しています。

● 環境家計簿

電気やガスなどの使用量を把握し、環境にやさしい行動の効果を知ることができる環境家計簿をつけてみましょう。電気などのエネルギー使用量と二酸化炭素排出量の推移をみるができます。電気やガスなどの使用量を抑えることは、家計の負担を減らすことにもつながります。

※環境保全課(集合事務所4階)で配付、または市ホームページからダウンロードできます

冬期の大気汚染防止キャンペーン

冬期は、大気がよくみやすく、大気汚染の原因である二酸化炭素などの濃度が高くなる状況にあります。

このため、市では自動車や暖房機器などからの大気汚染物質の排出を抑制するために、「冬期の大気汚染防止キャンペーン」を平成24年1月まで実施します。

次の6つの事項について、ご協力をお願いします。

- ・アイドリングストップなどエコドライブを実践しましょう
- ・自動車を使用する場合は、環境負荷の少ない車を選びましょう
- ・公共交通機関を積極的に利用しましょう
- ・大気汚染物質の排出の少ない機器(環境省が定めたガイドラインに適合した機器)を使用しましょう
- ・太陽光などの自然エネルギーを活用しましょう
- ・室内の暖房温度は20度をめやすに設定しましょう



↑推奨ガイドライン
適合ラベル

一人一人の
心がけが
大きな力に!

